2022 環境学習セミナー

環境学習セミナーVOL2

2023年
2月19日

風呂敷から環境文化を体感しよう

落語で（笑）

落語２題、立命館大落研の「立命亭不滅」（りつめいていぶらなりあ）さんから風呂敷を題材にした古典落語、昔は身近に風呂敷があり懐かしく感じられた方も多かったと思います。
続いて「九冊八帰帆」（くさつやきはん）さんから現代風にアレンジした創作落語、なつかしい映画スターが関わる風呂敷の話に、みなさんどんどん話にのめり込んでいき会場は笑いの渦で満載、廊下を通る人も足を止めるほど盛況でした。

みんなで使おう バッシー
風呂 Bath 敷 Seat

ワークショップ
風呂敷を使ってみよう

和やかな雰囲気になったところで、風呂敷のワークショップをコーディネーターの山本悦子さんからして頂きました。風呂敷の歴史、便利な使い方のあれこれ、防災にも使える事、を学びました、風呂敷１枚で色々な物を便利に、見た目もきれいに「おしゃれに」梱包できることを山本さんの絶妙なトークに誘導され、みなさん使い方を学ぼうと真剣なまなざしで取り組んでおられたのが印象的でした。又「防災」の使い方では、リュック、三角巾、頭巾、マスク、とみなさんが体験、あちこちから驚きと昔を懐かしむ声が上がり、楽しいワークショップとなりました。（本江）

環境コーディネーターでもある
風呂敷伝道師　山本悦子さん

㊤九冊八帰帆(くさつやきはん)さん
㊦立命亭不滅(りつめいていぶらなりあ)さん

風呂敷使い方あれこれ
贈り物にもバッシー！

環境学習セミナーVOL1

2022年
11月26日

小槻（おつき）神社
秋の里山ワークショップ

小槻神社の森を散策しながら紅葉やドングリなど秋を感じるものを集め、なぜ紅葉になるのかという話し合いを通じて自然環境を考えるワークショップを開催しました。小学生の親子連れなど全11名の参加がありました。
小学生対象ということで事前に二つのミッションが与えられ、それを解決するという進め方としました。最初のミッションは「葉っぱの色の変わらない木、変わる木、それぞれお気に入りを探せ！」
ガイド役の宮城理事長の案内のもと、小槻神社の森をワイワイと散策、観察そして秋を感じるものを集めていきました。
次のミッションは「何のために葉っぱの色が変わるの？その木の気持ちになって考えよう！」。子どもチーム、大人チームに分かれて、なぜ紅葉の色が変わっていくのか考えました。
子どもチームからは、太陽の当たり方、気温の下がり方、水分の量などのほか、木の気持ちになって子孫を残すため、など子どもならではの発表に大人チームから驚きの声も上がっていました。
大人チームの発表では、いろんな種類の葉っぱを地図上にきれいに貼り付けられて、わかりやすいという声もありました。
天気にも恵まれ、深まる秋を感じることができた一日となりました。（金沢）

榊(サカキ)と椿(ツバキ)の見分け方は？

木の大きさ(幹周りの太さ)の計り方は？

子どもたちのしっかりした発表に大人もびっくり

大樹の樹洞(ウロ)は
小鳥の住み家

子どもチーム、大人チームで競ってとりまとめ中

参加者からの声

- モチの木に興味をもちました。直径57cm周りの長さが180cmだった事が初めて知りました。
- 榊はお寺にあるのかとか、なぜ緑なのかなどが不思議でした。
- 椿と榊の木と葉の違いが新な発見でした。
- イロハモミジは7枚あるとかが、わかりました。
- 神社という場所が子供の教育に良いと気が付きました。